

スクールカウンセラーのための勉強会

主催：なら思春期・不登校支援研究所
(<http://nara-futoko.net/>)

日々、学校現場で起こるさまざまな課題に対し、一人職種のスクールカウンセラーには、細やかに全体に気を配りつつ、即時対応することが求められます。仕事を続けるには、学び続ける意欲と安心して支え合える仲間が必要です。本研究所では、スクールカウンセラーの自己研鑽の場として、また相互に学び合える場として、ベテランのスクールカウンセラーから実践に役立つお話を聞く会を企画しました。関心のある方は、どうぞ奮ってご参加ください。

<ベテランスクールカウンセラーから学ぶ SCの実際と勘どころ>

○日程：月1回土曜日 年10回開催（前期5回、後期5回）

2021年 5月22日・6月26日・7月24日・8月28日・9月25日（前期5回）

2021年 10月23日・11月27日・12月18日 2022年 1月22日・2月26日（後期5回）

○時間：午前10:00～12:00 ZOOMによる参加（または会場） 対象：SCの方であればどなたでも

○講師：岩宮恵子先生、阪中順子先生、相馬誠一先生、竹下三隆先生、良原恵子先生
（五十音順） <研究所アドバイザー> 伊藤美奈子（担当日程/内容は裏面に記載）

○参加費：ZOOM参加 前期5回 15,000円、後期5回 15,000円 全10回 申し込みの場合 30,000円
会場参加 前期5回 15,000円、後期5回 15,000円 全10回 申し込みの場合 30,000円

*臨床心理士資格更新ポイント申請予定（全10回参加予定者対象）

お申し込み方法

下記の項目を明記ください

※締切：5月16日（日）

申し込み先：http://nara-futoko.net/index_mailform.html

申し込み先
QRコード



- 1) 氏名（ふりがな）
- 2) 携帯電話番号
- 3) 返信用アドレス
- 4) 参加希望 前期 後期 全10回 会場／ZOOM
- 5) 現在SCをされている学校の校種：小・中・高など
- 6) SC経験年数
- 7) この講座を知られたきっかけ
- 8) 臨床心理士資格をお持ちの方は、臨床心理士番号

*振り込みが確認されてから、お申し込みが確定します
振込先は、お申込みの後

メールにてお知らせいたします

ZOOM定員50名・会場定員は6名まで

<先着順、定員になり次第締め切ります>

なら思春期・不登校支援研究所とは？

奈良にご縁のある仲間と、資格の種類を超えて心理支援を学び続けるための研修や勉強会の企画、さらに不登校をはじめとする思春期の子どもたちの居場所作りを目的として、このたび研究所を立ち上げました。まだまだ試行錯誤ですが、皆さまのご意見も賜りながら進めていきたいと思っております。

どうぞ宜しくお願いいたします。

研究所アドバイザー 伊藤美奈子
研修担当 栗本美百合

開催場所：なら思春期・不登校支援研究所

近鉄奈良駅から徒歩7分

会場での参加決定の方には詳しい所在地をお知らせいたします。

○お問い合わせ先

なら思春期・不登校支援研究所

sayurikuri@gmail.com 研修担当栗本まで

*コロナの状況によって、会場開催が不可能になった場合は、ZOOM参加のみとさせていただきますのでご了承ください

担当講師と内容紹介

担当講師	前期	前期内容
伊藤美奈子先生	①5月22日	「今、あらためて不登校を考える－不登校の子どもや保護者の思いと支援－」
阪中順子先生	②6月26日	「学校における自殺予防－SCのできること」①自殺予防教育の進め方
相馬誠一先生	③7月24日	「カウンセリングに活かす描画療法－スキュグル・スクリブル法を中心に－」
竹下三隆先生	④8月28日	「非行や犯罪をした人や不適応の人の特徴から自分や人の育ちで大切なことについて考える」
良原恵子先生	⑤9月25日	「スクールカウンセラーと他職種他機関連携①」

伊藤美奈子先生
(研究所アドバイザー)

高校教師時代に出会った不登校生徒との関わりから、心理臨床の世界に入りました。SC実践では、次々と出てくる課題に直面し、修業の日々です。

皆さんと一緒に、たくさん学び、考え、感じる時間になると嬉しいです。今回、研究所として、初めての企画でお話しさせていただきます。ふるってご参加ください。

講師紹介と皆さんへ講師の先生からの一言メッセージ (五十音順)

岩宮恵子先生

SCが始まった年から、現在に至るまでずっと学校現場に関わらせていただいています。また、大学の相談センターでも本人や保護者、先生方とお目にかかっています。そのなかで、子どもたちの人間関係のありようがずいぶんと変化してきているのを感じています。学校や学年、クラスによっていろいろな違いはありますが不適応と言われる状況の背景には、どんなことがあるのか、実践のなかで感じたことをお話させていただきます。

阪中順子先生

学校現場で、教員として、SCとして長く勤めてきました。その間、試行錯誤しながら、自殺予防の視点から児童生徒への関わり方について、多くのことを学んできました。

子どものいのちを未来につなぐために学校に求められているのは、どのようなことなのでしょう。か、生きづらさを抱える子どもたちに、私たち大人（SC、教員、保護者）ができることを一緒に考えてみませんか。

相馬誠一先生

1975年から子どもとのカウンセリング活動を続けています。子どものカウンセリングに活かす描画療法や箱庭療法を実践的に研究しています。スクールカウンセリングで活用できるスキュグル法、スクリブル法を身につけることで、カウンセリングの幅と深さができることを体験してください。

趣味は聖地(祈りの場)巡礼を探求しています。奈良はたくさん祈りの場がありますね。サインペン、クレパスと画用紙を用意してください。

竹下三隆先生

前期は、竹下と少年院の少年や受刑者との心に残ったやり取りを紹介することで、不適応の人たちの理解と対応を考えます。後期は、具体的な事例に対しての読みとりと関わりについて考えます。

30年間、少年院や少年刑務所で法務教官として勤務。現在はスクールカウンセラー、メンタルサポーター等をしています。歌って踊れるカウンセラーを目指しています。

大切なことは支援者も「もらうこと」だと思います。もらった分しか人にやれません。チャイルドになり、感情的になり、人に甘えることで自分が育つと思います。

良原恵子先生

医療機関で精神力動療法的な視点による個人・集団・家族療法や芸術療法に関わる中で、幼児から高齢者の方々にお会いしてきました。また、その時のチーム医療における他職種他機関連携の経験が現在のSC活動の礎になっています。

SCとして子どもたちや学校のために何ができるのか、参加者の皆さまと一緒に考えたいと思います。

担当講師

後期

後期内容

伊藤美奈子先生	①10月23日	「いじめを考える－調査データと再調査委員会から見えてきたこと－」
阪中順子先生	②11月27日	「学校における自殺予防－SCのできること」②自殺のリスクの高い子どもへの関わり方
良原恵子先生	③12月18日	「スクールカウンセラーと他職種他機関連携②」
竹下三隆先生	④2022年 1月22日	「一つの事例を深く読みとる練習－不登校事例を中心に－」
岩宮恵子先生	⑤2022年 2月26日	「現代の思春期の人間関係を考える－問題行動や不適応の背景にあるもの－」